

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミ	チーム名	チームショック
タイトル	経済危機による日本経済への影響と展望についての研究 ～経済復興への歩み～		
テーマ群	b) 財政・金融		
メンバー	小田口 新、白石 隼也、鈴木 翔太、白井 茉夏、桑原 朱里		
研究計画内容	<p>研究背景</p> <p>新型コロナウイルスの感染蔓延により、世界経済の状況が悪化している現状を先行研究したうえで、我々の住む日本を中心に、過去に起きた感染症以外の経済危機によって、日本経済がどのような影響を受け、日本政府がどのような政策をとったのかをデータを用いて分析し、またその政策を踏まえて、今後新たな経済危機がやってきたときにどのように対処すべきかのヒントに繋がるのではないかと考え、今回の研究テーマとした。</p> <p>研究の内容</p> <p>まず初めに、誰もが必ず耳にしたことのあるコロナショックについて触れ、ピークの時から今のコロナについてのデータを出す。それによるピーク時と「今」の現状比較および、政府の対策案の傾向を述べたうえで、そのほかのショックで日本は（世界は）どのような政策をとったのか、当時の経済影響を交えて発表していく。</p> <p>主に3つに分類する。①金融系、②自然災害系、③戦争系（その他）。</p> <p>過去のショックを見ると世界と日本との対応の差に気づいた。具体例として、2008年に起きたリーマンショックではアメリカは起きてから迅速な対応がなされたが、日本では出遅れる形となった。それにより、経済影響はその差に比例し大きくなる。そこで我々のチームは過去のショックから政府が出した政策は本当に正しかったのかを図やデータを用いて分析を行う。それを元に我々が打ち出した経済政策を挙げる。</p> <p>阪神淡路大震災、東日本大震災、台風、洪水などを例に挙げ、短期的・長期的にどのような経済損失、影響が起きたのか？また、政府の対応を研究発表。</p> <p>第二次世界大戦や現在も続くロシアによるウクライナ進行などを例に挙げ、戦争経済の観点から、貿易・航空産業にも注目しどのような経済影響が起こったのかを研究発表。最後にまとめとして、上記の要点をまとめる（質疑応答を有意義にするため）。今後の新たな経済危機に備えるための、我々の案を述べる。</p> <p>期待されること</p> <p>我々のグループは具体的なデータと対策案をあらゆる観点から見ることにより次のショックが起こった際に事前に対策できる。それにより危機を微力ながらも抑えることができる案を導き出すことが期待される。</p> <p>そして、一つのショックに限定せずに災害的、金融的などの観点から見ることで柔軟な対策案を生み出すことができる。</p>		